
平成29年度
事業報告書
【総括版】

社会福祉法人 東北福祉会

1. 本部

総括	<p>1. 法人の安定経営を目指し、経営会議・施設長会議において課題の共有と改善を図った。</p> <p>2. 「人財獲得」、「人財評価」、「人財育成・定着」の各検討委員会が中心となり、働きたくなる職場環境づくりの検討、辞めない組織づくり、適正な評価の在り方についての検討と実践を行った。</p> <p>3. 社会福祉法人制度改革に合わせた法人基盤の整備として、ガバナンスの強化、透明性の向上に努めた。</p>
実施項目	<p>1. 各種会議の開催 (1) 理事会 (4回)、(2) 評議員会 (2回)、(3) 監事監査 (2回)、(4) 法人経営・施設長会議 (13回)、(5) 法人総務部課長会議 (8回)、(6) 法人事業系部長会議 (9回)、(7) 法人総務担当者会議 (2回)、(8) 法人シーサート会議 (1回) ※シーサート会議：セキュリティ対策等</p> <p>2. 各検討委員会の開催 (1) 人財獲得検討委員会 (14回)、(2) 人財育成・定着検討委員会 (15回)、 (3) 人財評価検討委員会 (13回)</p>
主な内容	<p>1. 諸規程の制定・改正 (1) 新設 ①理事職務権限規程 (2) 改正 ①経理規程、②監事監査規程、③個人情報保護規程、④特定個人情報保護規程、⑤育児休業および育児短時間勤務に関する規則、⑥介護休業および介護短時間勤務に関する規則、⑦給与規程、⑧事務決裁規程、⑨理事長専決規程、⑩預り金等管理規程、⑪役員等の費用弁償及び旅費規程、⑫就業規則、⑬准職員及び契約職員規程</p> <p>2. 各検討委員会の主な実践内容 (1) 介護職員初任者研修の開催 (年1回/受講者数7名) (2) 人財評価制度における評価カードの改正 (3) 法人研修内容について、詰込み式カリキュラムから脱却し、アクティビティを取り入れた楽しめる研修内容へ見直しを図った。</p>

2. せんだんの杜

総括	<p>1. 法人理念の達成のため、さらなる人財育成を目的としてOJTを重点的に取り組むと共に職場環境改善による働きやすい環境整備を進め、職員たちが提供するサービスの質の向上につなげた。</p> <p>2. 地域の多様な資源との有機的な連携による協働は継続しつつも、さらなる地域の生活福祉向上のため、見えてきた福祉的課題を踏まえた新規事業の検討を行うなど、拡充を図ることができた。</p>
実施項目	<p>1. サービスの質を振り返り、利用者に加え、家族、保護者等に対する生活支援の向上に注力した。</p> <p>2. 職場環境改善について、職員参画による課題解決型の検討並びに改善策の策定を行なった。</p> <p>3. 地域の生活福祉向上の目的を再確認し、継続のみならず新規事業創設の検討等、展開を拡大した。</p> <p>4. 経営分析により、収益拡大のための事業経営の見極め並びに支出案件の精査を行なった。</p>
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 法人の職務遂行能力評価資格制度による動機づけなどを効果的に活用し、人財育成と人財定着に取り組むと共に職員による主体的検討に基づく職場環境改善策を策定、導入した。</p> <p>2. 福祉サービスに対する社会的要求に応えるべく、理念と実践の融合をさらに深め、各領域において具体的実践につなげることに取り組んだ。</p> <p>3. 決して楽観視できない平成30年度報酬改定を見据えて、事業経営の見極めを行い、事業の拡大並びに縮小に具体的に取り組んだ。</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>1. 「午後の音楽カフェ」(いわゆる認知症カフェ) 並びに訪問型子育て支援のさらなる充実を図るために、体制整備や関係団体との協議などに取組んだ。</p> <p>2. ボランティア希望者や職場見学・体験希望者などの要望に応じたコーディネート並びに実習生のやりがいある実習にするための受入カリキュラムの改編に取り組み、担い手側の創出と福祉人財の発掘や確保に取り組んだ。</p> <p>3. 地域で活動する各種団体が企画する催事等に積極的に参加し、ネットワークの新規構築および地域にあるニーズの把握に取り組む、さらに相互関係を深めることができた。</p>

3. せんだんの杜ものう

総括	<p>1. 人財育成を目的として、各種内部研修を定期的実施し、サービスの質の向上と職場環境改善の検討を行った。</p> <p>2. 職員と地域住民を対象に、「認知症の方への対応力向上」のため認知症サポーター養成講座を実施し、地域住民との連携を図った</p> <p>3. 全サービスの稼働（率）の状況と、圏域内のサービス提供事業者数・事業内容および介護保険等サービス利用者数等の情報収集を行い、事業のあり方について見直しを行った。</p>
実施項目	<p>1. 地域住民との「対話」する機会を増やしていくための取り組みとして「認知症サポーター養成講座」をきっかけとした「認知症カフェ」の取り組みを実施した。</p> <p>2. 利用者・入居者の対応や事業所のサービス内容に関する課題に対して、多職種による共有・検討する機会を持ち、適切な対応方法や柔軟な考え方を相互に学びあい、対応力の強化に努めた。</p> <p>3. 定例の会議において、収支状況について経営・管理・指導職にて対応策を検討すると共に、検討内容を全職員へ報告し、組織全体で経営改善に向けた取り組みを行った。</p>
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 特養において入居者満足度調査を実施した結果を全部署で共有を図り、課題の分析を行い、「満足度」の更なる向上に向けて、生活支援に関する勉強会、環境整備の強化に努めた。</p> <p>2. 居宅系サービスの稼働率向上に向けた取り組みとして、圏域内の居宅介護支援事業所・地域包括支援センターを定期的に訪問、情報提供を行い、稼働率向上のための営業活動に注力した。</p> <p>3. 総合支援事業、介護報酬改訂等変わりゆく制度に対する理解度を深める為に、事業所全体および各部署内での勉強会を開催し学びを深めた。</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>1. オレンジリング所持者を対象として、「ものう認知症の方への対応力向上プロジェクト」を立ち上げ、認知症サポーターステップアップ講座を実施した。</p> <p>2. 幼稚園児、児童・生徒と、高齢者との交流の機会を設けるだけでなく、職員が学校へ出向く等して介護・福祉に関する講話を行い、福祉に関する興味・関心が持てる機会を設けた。</p> <p>3. 東日本大震災後に仮設住宅に住まわれていた被災者の方々が、新たな場所で新たな生活に円滑に移行できるよう、関係機関・関係団体等と連携を図りながら支援を行った。</p>

4. せんだんの里

総括	<p>1. 職員一人一人が経営観念（意識）を高め、安定した経営を行う。</p> <p>2. 介護保険法、社会福祉法等の基本理念の理解を深め、各事業拠点における適切なマネジメントを行い、利用者の生活を支援する。</p> <p>3. 地域住民とともにコミュニティを形成する中で、ニーズ等を的確に捉え、柔軟な地域支援体制の構築を目指す。</p> <p>の3項目を目標に実施した結果、ショートステイ床の一部特養転換認可を得たことにより、収益増を確保し経営の安定化を推進できた。また、地域ボランティアの受入れと交流、介護料理教室や認知症カフェ等の定期開催、認知症サポーター養成講座（東北福祉大学・仙台高校・ライオンズクラブ等）を実施して積極的に地域支援に取り組むことができた。</p>
実施項目	<p>1. ショートステイ1ユニット16名定員を特養10名定員ユニットに転換し、長期入居者を受入れて、利用率を向上し安定経営を図った。また利用者獲得のため他事業所との情報共有を行った。</p> <p>2. 利用者の生活支援について、ひとり一人のニーズを汲み取り介護等のサービス計画書に反映して、サービスの見直し、質の向上に努めた。</p> <p>3-①. 近隣地域との有機的な連携を構築し、地域住民のニーズに沿った社会資源としての機能を効果的に提供した。（介護料理教室やサロン希来里の実施、せんだんの里だより発行、秋祭り等行事の開催）</p> <p>3-②. 認知症になっても家族と共に安心して暮らせる地域づくりを目指して、地域住民と協働して専門職者としての情報発信と実践を行った。（認知症カフェ、認知症サポーター養成講座）</p>
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の平成30年度改正に対応して、各サービス事業所において現状の把握、体制等の見直しを行ったことで、各職員の知識と理解が深まった。 地域密着型「運営推進会議」を定期に開催し、ご家族や民生委員児童委員との意見交換を行って、地域の現状理解と事業運営について、ともに検討することができた。 <p>【地域公益活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「せんだんの里だより」の毎月発行を通じて、専門職者として生活に役立つ情報の提供、介護料理教室やサロン希来里の案内の発信等、地域住民に向けてせんだんの里が有する機能を社会資源として効果的に提供することができた。

5. せんだんの館

総括	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者のニーズに応じたサービス調整および関係機関との連携による新規利用者の獲得、入居申込者等への継続的なアプローチにより稼働率の維持・向上を図った。 2. 長期的な安定経営を常に念頭に置き、その具現化のため、月間・年間の収支把握と分析を行いながら増収を図った。 3. 「利用者主体」の基本方針に基づく人財育成とサービスの質向上を図ると共に、職員が働きがいをもてる「魅力ある職場づくり」に取り組んだ。 4. 近隣住民および関係機関との連携により、新たな地域サービスの開発・提供を実施した。
実施項目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的な稼働率分析および稼働率向上のための取り組み、経費削減。 2. 目標管理に基づく学習機会の確保と、職員のメンタルヘルスの向上。 3. 利用者のニーズに基づく業務の見直しとサービスの標準化。 4. 地域連携を考えるワーキングチームを中心とした認知症カフェ開催および介護予防の普及啓発。
主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月のソーシャルワーカー会議等において、稼働率の集計・分析を行うとともに、入居申込者に対する状況把握の連絡を定期的に行い、入居支援過程の早期調整に繋がった。(年間入退居調整者33名、平均調整日数8.7日間) 2. 毎月のリーダー会議において月間収支状況を開示し、節電・節水・修繕費等の支出状況について定期確認を行い、物品購入の要・不要の随時確認、消耗品の見直し等、経費削減に努めた。 3. ストレスチェックの実施(受検率100%)等、職員の健康状態把握と改善に努め、衛生委員会で企画した「働きやすい職場とは」をテーマに、職場環境向上に取り組んだ。また、昨年度からの継続で、担当上司や支援担当者を通じて、学習や業務へのサポート体制を強化した。 <p>【地域公益活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌の発行、近隣町内会と合同防災訓練実施、各種料理教室の開催、介護予防教室の開催、町内会への講師派遣、サロン活動、施設設備の開放などの地域貢献事業へ積極的に取り組んだ。 2. 近隣の地域包括支援センターや関係機関との協働により、認知症カフェ「オレンジカフェすまいる」を開催し、認知症の方、介護家族の居場所づくり、地域住民への普及・啓発に取り組んだ。

6. 認知症介護研究・研修仙台センター

総括	<p>東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との有機的連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施した。</p>
実施項目と主な内容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 老人保健事業推進費等補助金による研究事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 認知症介護従事者に対する研修の効果的な実施方法及び評価に関する調査研究事業 (2) 認知症の家族等介護者支援に関する調査研究事業 (3) 高齢者虐待の要因分析及び高齢者虐待の防止に資する地方公共団体の体制整備の促進に関する調査研究事業 (4) 高齢者虐待における重篤事案等にかかる個別事例についての調査研究事業 2) 運営事業費における研究事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) ICTを活用した家族介護者支援への効果的介入方法に関する研究 (2) 認知症についての学習環境・eラーニングシステムを効果的に活用できる環境支援と普及啓発に関する研究 (3) 認知症ケアの標準化に関する研究 3) 仙台市からの委託事業「仙台市認知症カフェ支援事業」 2. 研修事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症介護指導者養成研修の実施(第1回 21名修了 第2回 16名修了) 2) フォローアップ研修の実施(第1回 14名修了 第2回 13名修了) 3. 運営事業補助金による事業 <p>運営委員会・外部評価委員会による管理・運営の充実、全国運営協議会によるセンターの適正な運営、認知症に関する知見を一般市民に普及するための認知症介護セミナーの開催、地域住民を対象とした健康講座の開催</p> 4. その他事業 <ol style="list-style-type: none"> 1) 認知症介護基礎研修 eラーニング運用事業 2) 「認知症介護の基礎」研修事業 <p>【地域公益活動】</p> <p>東北福祉大学と仙台市の認知症対策推進協定における認知症カフェの企画・運営</p>

7. 各事業の実績と目標の比較

(1) せんだんの杜

No	サービス事業所名	定員(人)	H29 年度実績 (%)	H29 年度目標 (%)	H28 年度実績 (%)	H27 年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘 (従来型) ※1	36 (32)	95.2	98.5	97.8	98.4
2	特別養護老人ホームリベラ荘 (ユニット型)	18	94.6	97.0	96.2	89.6
3	ケアハウスフェリコ館	30	98.9	97.5	99.1	93.6
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所※2	16 (20)	77.4	96.0	93.7	93.6
5	せんだんの杜訪問介護事業所 (障がい) ※3	—	329.1 (時間)	300 (時間)	292 (時間)	294 (時間)
6	せんだんの杜国見ヶ丘通所介護事業所※4	10	休 止	休 止	休 止	50.4
7	せんだんの杜中山通所介護事業所 (一般型)	10	58.5	62.2	53.3	46.1
8	せんだんの杜国見通所介護事業所※5	10	38.0	52.3	44.1	47.3
9	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	69.6	75 (件)	73.7 (件)	76.4 (件)
10	国見ヶ丘地域包括支援センター	—	239.6	264 (件)	263.3 (件)	252.4 (件)
11	杜の子ハウス (放課後等デイサービス)	10	93.1	80.0	93.0	91.6
12	遊杜家 (放課後等デイサービス)	10	100.7	80.0	104.3	118.5
13	国見ヶ丘の家 (放課後等デイサービス)	10	51.4	60.0	—	—
14	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	105.8	106.0	106.0	105.0
15	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	107.0	107.0	107.0	107.0
16	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	260.3	333.3	364.3 (件)	341 (件)
17	せんだんの家 (自立援助ホーム)	暫定9	59.7	88.0	96.0	45.2
備考	※1 特別養護老人ホームリベラ荘 (従来型) 平成30年1月より定員36人 ※2 せんだんの杜短期入所生活介護事業所平成30年1月より定員16人 ※3 せんだんの杜訪問事業所平成29年4月より訪問介護 (高齢) 休止、居宅介護等 (障がい) のみ ※4 せんだんの杜国見ヶ丘通所介護事業所平成27年9月より休止 ※5 せんだんの杜国見通所介護事業所平成29年11月より休止					

(2) せんだんの杜ものう

No	サービス事業所名	定員(人)	H29 年度実績(人)	H29 年度計画(人)	H28 年度実績(人)	H27 年度実績(人)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	97.7	98.5	97.2	99.1
2	ものう短期入所生活介護事業	15	100.8	103.0	102.1	88.6
3	地域福祉センター通所介護事業	18	75.0	70.0	66.3	78.4
4	ものう通所介護事業	10	53.4	75.0	67.5	69.3
5	ケアハウスフェリカ	15	98.1	99.0	98.8	99.7
6	ものう訪問介護事業	—	543.9 (時間)	620 (時間)	572.4 (時間)	584.4 (時間)
7	ものう居宅介護支援事業	—	118.0 (件)	130 (件)	124.3 (件)	115.3 (件)
8	石巻市ものう地域包括支援センター	—	128.2 (件)	120 (件)	117.6 (件)	115.6 (件)
9	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業	9	91.6	98.5	94.7	94.4
10	なかつやま第一通所介護事業	10	68.1	70.0	64.5	77.6
11	うした認知症対応型共同生活介護事業	9	98.5	98.5	97.4	96.3
12	うした通所介護事業	10	81.4	83.0	81.4	64.6
13	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	15.5	32 (人)	23.6 (人)	18.5 (人)
14	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	34.2	40 (人)	33.1 (人)	30.4 (人)
備考						

(3) せんだんの里

No	サービス事業所名	定員(人)	H29 年度実績(人)	H29 年度計画(人)	H28 年度実績(%)	H27 年度実績(%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	150→160	96.8	96.3	96.2	92.5
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス含む)	50→34	84.3	80.2	79.7	83.8
3	せんだんの里デイサービス	月～土 25 日曜 10	月～土 80.8 日 85.3	月～土 73.3 日 80.0	月～土 71.4 日 55.2	月～土 75.3 日 40.0
4	せんだんの里国見ヶ丘 3 丁目デイサービス	月～金 10	69.3	80.0	76.9	72.0
5	せんだんの里グループホーム	27	99.2	99.3	98.0	98.5
6	せんだんの里国見ヶ丘 3 丁目グループホーム	9	100.0	97.8	96.5	98.4
7	せんだんの里居宅介護支援事業所	—	105.1(件)	122.0(件)	117.6(件)	124.7(件)
備考	29 年 10 月よりショートステイを特別養護老人ホームに転換。 特養 定員 4～9 月 150 名→10～3 月 160 名 ショート 定員 4～9 月 50 名→10～3 月 34 名					

(4) せんだんの館

No	サービス事業所名	定員(人)	H29 年度実績(人)	H29 年度計画(人)	H28 年度実績(人)	H27 年度実績(人)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	97.8	98.3	97.5	97.8
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.2	94.0	94.4	90.9
3	せんだんの館デイサービス	40	77.9	82.3	78.1	82.8
備考						

(5) 認知症介護研究・研修仙台センター

No	研 修 名	定員(人)	H29 年度実績(人)	H29 年度計画(人)	H28 年度実績(人)	H27 年度実績(人)
1	第 1 回認知症介護指導者養成研修	20	21	20	18	19
	第 2 回認知症介護指導者養成研修	20	16	20	19	19
2	第 1 回フォローアップ研修	20	14	16	10	14
	第 2 回フォローアップ研修	20	13	17	19	16
備考						